【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公開番号】特開2005-235393(P2005-235393A)
【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-034
【出願番号】特願2005-142093(P2005-142093)
【国際特許分類】
　Ｇ１１Ｂ　7/09　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｇ１１Ｂ　7/09　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月27日(2007.11.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　第１または第２もしくは両方のレーザ光源から出射された光ビームが少なくとも３本の光ビームに分岐されて、第１または第２の光学的情報記録媒体に照射され、前記光学的情報記録媒体で反射された光ビームを検出する光検出器において、
　前記第１の光学的情報記録媒体で反射された光ビームが照射される受光領域が４分割され、４つの受光面を有する第１の受光領域と、
　前記第２の光学的情報記録媒体で反射された光ビームが照射される受光領域が４分割され、４つの受光面を有する第２の受光領域と、
　前記第１の光学的情報記録媒体で反射された光ビームが照射される受光領域が各々２分割され、各々２つの受光面を有する第３及び第４の受光領域とを備え、
　前記第１または前記第２もしくは両方の受光領域から非点収差方式によるフォーカスエラー信号を生成出来る信号を出力し、
　または、前記第１または第２もしくは両方の受光領域から各々独立にプッシュプル方式によるトラッキングエラー信号を生成出来る信号を出力し、
　または、前記第１または第２もしくは両方の受光領域からディファレンシャルフェーズディテクション方式によるトラッキングエラー信号を生成出来る信号を出力し、
　または、前記第３または第４もしくは両方の受光領域から各々独立にプッシュプル方式によるトラッキングエラー信号を生成出来る信号を出力することを特徴とする光検出器。